

平成 28 年 6 月 17 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 新規規制基準の適合審査の状況について

(1) 審査の進め方の見直しについて

当社施設の新規制基準適合性確認審査は、これまで原子力規制庁によるヒアリングにて審査されてまいりましたが、6 月 1 日に開催された第 12 回原子力規制委員会での「核燃料施設等の新規規制基準施行後の適合性確認のための審査の進め方の見直しについて」を受けて、公開での審査会合にて行われることとなり、6 月 6 日に施設関係の「竜巻影響評価」、6 月 10 日に地震等関係の「敷地及び敷地周辺の地質・地質構造」の審査会合が実施されました。

(2) 審査の状況について

施設関係の審査は、6 月 6 日の審査会合において「竜巻影響評価」が了承されたため、主な審査は終了し、地震津波等のコメント回答が残件となりました。これについては、地震津波側の審査が終了した段階で回答していく予定としております。

一方、地震等関係の審査は、6 月 10 日の「敷地及び敷地周辺の地質・地質構造」の審査会合において、敷地内は審議終了となり、敷地周辺については継続審議となりました。今後、「地質」「火山」「基準地震動」「津波影響評価」等について、順次審査会合にて審議していくこととなりますので、この対応に全力で取り組んでまいります。

2. 「原子力事業者防災業務計画」修正の届出について

原子力災害対策特別措置法に基づき、青森県知事及びむつ市長との協議を経て、リサイクル燃料備蓄センター「原子力事業者防災業務計画」に通報先を追加する等の修正を行い、平成 28 年 3 月 18 日に内閣総理大臣および原子力規制委員会に届出しました。

(平成 28 年 3 月 18 日 ホームページに掲載※)

3. 「使用済燃料貯蔵施設に関する設計及び工事の方法の変更認可申請書」の提出について

新規制基準の適合審査の状況を踏まえ、記載の適正化や品質管理の方法等の追加を行った「使用済燃料貯蔵施設に関する設計及び工事の方法の変更認可申請書」を平成28年3月22日に原子力規制委員会に提出しました。

(平成28年3月22日 ホームページに掲載※)

4. 原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について（報告）

旧原子力安全・保安院の「原子力施設の耐震安全性に係る新たな科学的・技術的知見の継続的な収集及び評価への反映等のための取組について」（平成22年12月17日）の指示に基づき、平成27年度の取組状況について取りまとめた報告書を、平成28年4月27日に原子力規制委員会に提出しました。

(平成28年4月27日 ホームページに掲載※)

5. リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵施設保安規定の認可申請書の一部補正について

平成25年3月29日付けで原子力規制委員会に提出した「リサイクル燃料備蓄センター使用済燃料貯蔵施設保安規定の認可申請書」について、新規制基準への適合性確認を受けるため、新規制基準に基づく記載の追加や使用済燃料貯蔵事業変更許可申請書の一部補正の内容等を反映したものを平成28年5月17日に原子力規制委員会に提出しました。

(平成28年5月17日 ホームページに掲載※)

※リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：<http://www.rfsco.co.jp/>

以 上